記者発表資料

平成２９年７月１４日
国土交通省東北地方整備局
仙台河川国道事務所

今年の広瀬川の水は“きれいかな”？

～小学生と一緒に広瀬川の環境調査をおこないます～

・仙台河川国道事務所では、河川の愛護、水質保全への関心を高めていただくために、昭和５９年から毎年、学校や各種団体の協力を得て、河川に生息する水生生物を指標とした水質の簡易調査を行っています。

・水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、一般の人にもわかりやすく、簡単に調査ができます。また、身近な自然に接することで、環境問題への関心を高める良い機会でもあります。

・今年も、**広瀬川において仙台市立八本松小学校の児童と一緒に、水生生物の生息状況の調査をおこないます**。

〇調査実施日（予定）
・平成２９年７月１９日（水）９時４０分から
（雨天時は８月下旬に延期）

〇調査場所
・名取川水系広瀬川右岸　太白区八本松　地先
（別紙「調査位置図」参照）

〇参加児童
・仙台市立八本松小学校　５年生　５７名

〇調査内容
・水生生物を指標とした水質の簡易検査

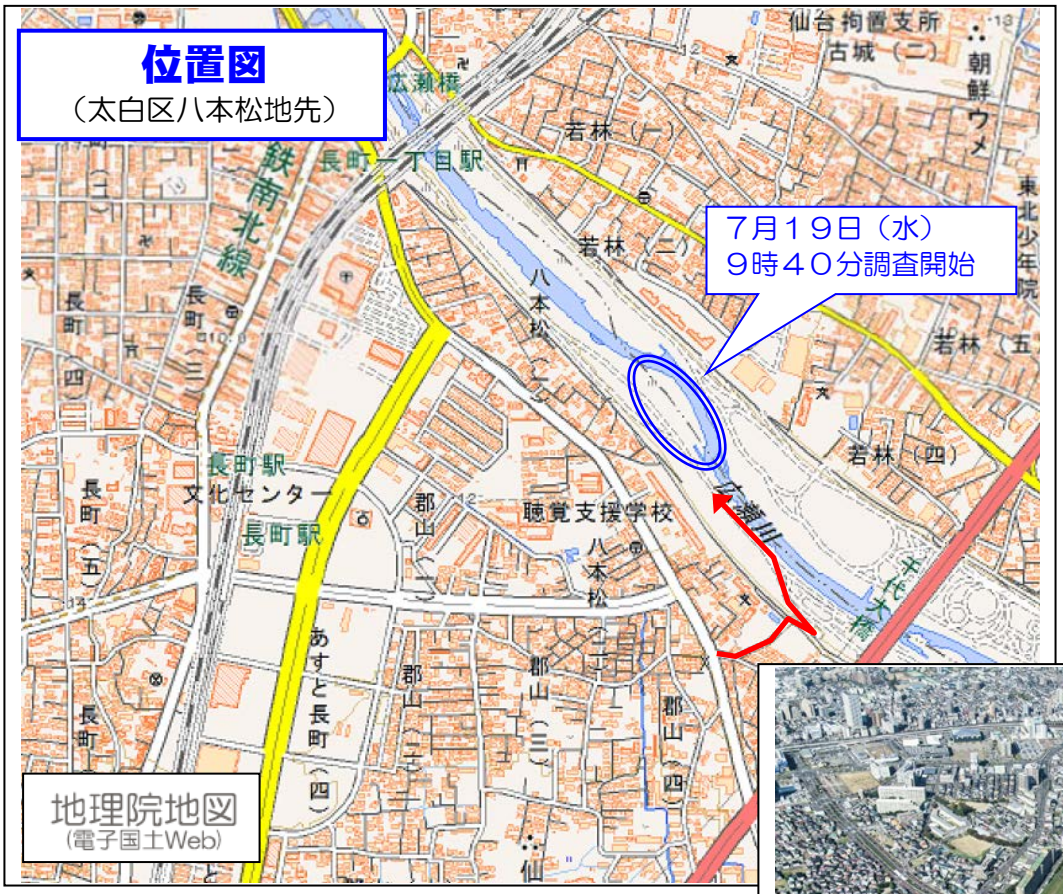
※本調査では、河川に生息する水生生物のうち、①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、29 種を指標生物としています。【別紙資料参照】

※河川で水生生物を採集し指標生物の同定・分類を行い、地点ごとに、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の４階級で水質の状況を判定します。

《発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会》

～問合せ先～
国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所
住所：仙台市太白区あすと長町四丁目１－６０
電話：０２２－３０４－１８１３（河川管理課直通）
河川管理課長　石井（いしい）　貴範（たかのり）（内３３１）
保全対策官（河川）　吾妻（あづま）　俊秀（としひで）（内２９７）

調査位置図





（昨年度の実施状況）









別紙資料

川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

Ⅰ きれいな水





耳状のとがった突起

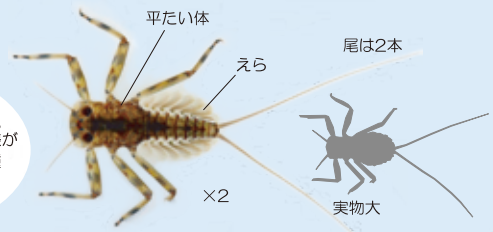


また、体に模様があるのも外来種

外来種
アメリカツノウズムシ＊

ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている





カワゲラ類

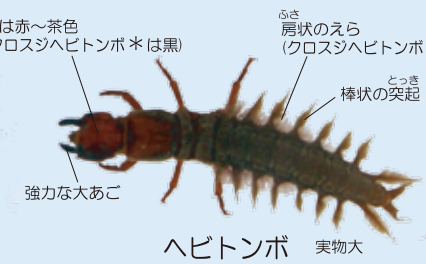
体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



頭は赤～茶色
（クロスジヘビトンボ＊は黒）

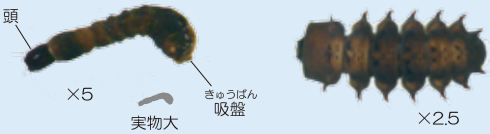
サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがいるが、
同じ種類である



ヘビトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものをおそう



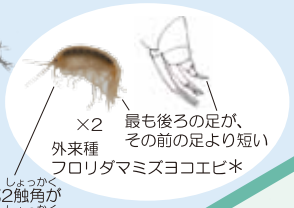
ブユ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある

アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石に
はりついている

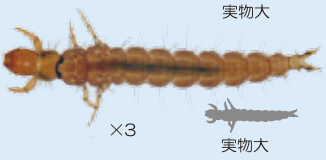




ヨコエビ類

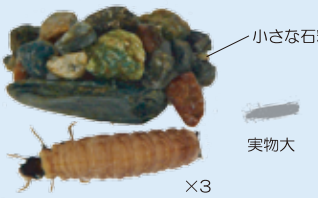
上流の石の下や水中に
たまった落葉の間にいる





ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



ヤマトビケラ類

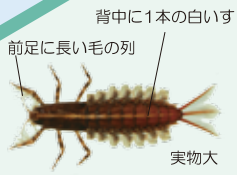
流れの少しゆるやかなところの石面に多い



タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる

Ⅰ，Ⅱ両方でみられる水生生物
（指標種ではない）



チラカゲロウ

流れのやや速いところにいる

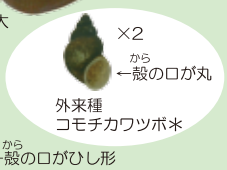


ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色

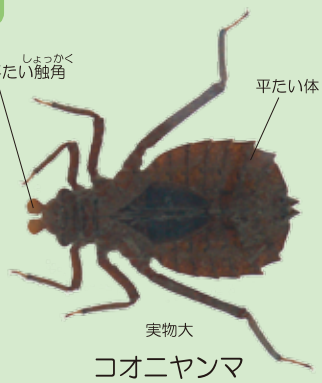
Ⅱ ややきれいな水





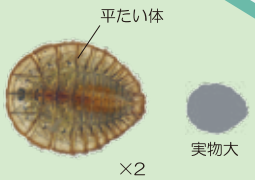
カワニナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカワツボ＊は数mmと小型



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



ヒラタドロムシ類

石の表面にはりついている



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところ
の石面にいる



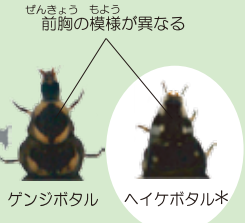
コガタシマトビケラ類

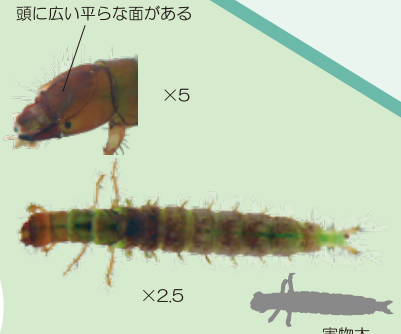
頭部の前縁に浅い凹みがある



ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワニナをえさとする



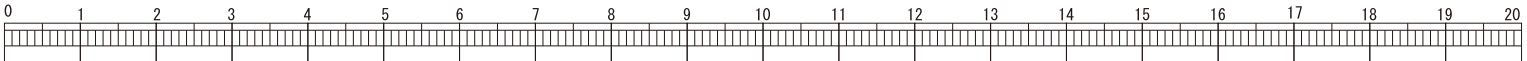


オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

＊のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

平成23年度版



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



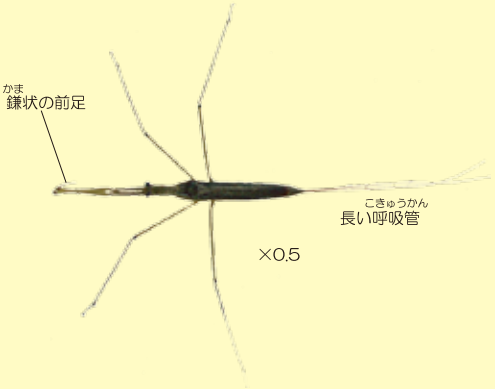
シマイシビル

背中に縦縞模様がある
伸びたり縮んだりする
尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある
流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き
流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種
流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対（4本）または1対（2本）のひも状のえらがある
瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分（キチン板）がある

汽水域（海水が混じっているところ）

Ⅱ ややきれいな水





イシマキガイ

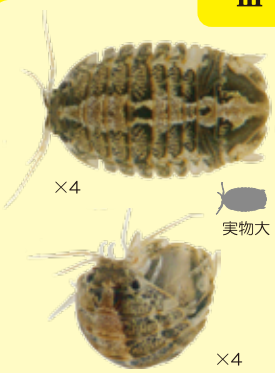
石や護岸にはりついている
淡水域にいることもある



ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる
淡水域にはマシジミ＊や外来種のタイワンシジミ＊がいる

Ⅲ きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいる
さわると丸くなる



ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる
河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

＊のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

